

平成24年度以降の自主防災会ブロック化の検討

1 ブロック化を必要とする背景

- ひとたび大規模な災害が発生したときに、被害の拡大を防ぐためには、国や都道府県、市町村の対応（公助）だけでは限界がありある。
- 自分の身を自分の努力によって守る（自助）とともに、普段から顔を合わせている地域や近隣の人々が集まって、互いに協力し合いながら、防災活動に組織的に取り組むこと（共助）が必要である。
- 「自助」「共助」「公助」が有機的に繋がることにより、被害の軽減を図ることが可能である。特に地域で協力し合う体制や活動（共助）は、自主防災組織が担うべき活動の中核である。



目 標

- 「自分たちの地域は自分たちで守る」という目的を達成するため、複数の自主防災会あるいは一定規模以上の単独自主防災会を基礎的自主防災組織として再編する。
 - ・災害発生前の活動と災害発生直後から数日間の共助活動
 - ・地域コミュニティの活性化
 - ・マンパワーによる地域課題の解決

2 具体的な検討課題

○自主防災組織の再編と組織内の役割

- | | | |
|----------------|---|----------------------|
| ・自主防災組織の規約 | … | ブロック等既存団体の活用、地域の防災計画 |
| ・自主防災組織の編成 | … | 正副本部長、実質活動班で編成 |
| ・情報伝達の方法 | … | 災害情報等の伝達 |
| ・避難所運営 | … | 食糧等の提供、衛生的環境の提供 |
| ・災害時要援護者近隣支援体制 | … | 日常生活の見守り、災害時避難支援 |
| ・補助制度の充実 | … | 自治活動補助金、防災組織補助金等 |

自主防災会の数

105 ⇒ 38以下

地域防災力

自 助

自身の身を自力で守る

共助(互助)

地域・近所の人々が互いに協力

公 助

公的機関による救助・救援